

【入試レベルの問題】（難易度：難）

アジアに興亡した帝国・王朝に関する文章を読んで、後の問に答えなさい。

西アジア・南アジアでは、16～18世紀にかけて三つのイスラーム国家が並立していた。すなわち、西アジアから東ヨーロッパ・北アフリカに領土を形成したⅠオスマン帝国、イランを支配したⅡサファヴィー朝、インドを支配したⅢムガル帝国である。これらの帝国には様々な宗教・民族が存在したが、Aイスラーム法をもとに各地域の実情に即した統治が行なわれ、国内外の商業ルートで結びつき繁栄していた。

16世紀初頭にこれらの帝国が勢力を拡大する要因としては、15世紀後半から普及したB火器を取り入れた軍事力の導入や専制国家を支えた官僚機構の構築があげられる。

一方東アジアでは、16世紀にはいるとヨーロッパ人の大航海や後期倭寇の活動が活発化し、Ⅳ明のC冊封体制が動揺し始めた。明の滅亡後17世紀に中国本土を統一したⅤ清は、18世紀にかけてさらに領土を広げ、漢人に加え、モンゴル人やDチベット人、ウイグル人など多民族の土地を支配する大帝国を築いた。18世紀半ば、清は中国史上最大の領土となったが、E藩部となった地域についてはその伝統や自治を認めた。

問1 文中の波線部Ⅰ～Ⅴの王朝・国家に関する設問1～10に答えなさい。

設問1 波線部Ⅰについて述べた文 **あ**とい の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

- あ ミットを設けることで非イスラーム教徒の自治を認めていた。
 - い ティマール制を採用し、兵士を従軍させた。
- ① あ 正 い 正 ② あ 正 い 誤
③ あ 誤 い 正 ④ あ 誤 い 誤

設問2 波線部Ⅰの皇帝に関して述べた文のうち正しい番号を選びなさい。

- ① セリム1世はモハーチの戦いで、サファヴィー朝を破った。
- ② スレイマン1世はサファヴィー朝よりバグダードを奪った。
- ③ セリム2世はフランスからカピチュレーションを公認された。
- ④ バヤジット1世は西欧文化を積極的に取り入れて、その治世は「チューリップ時代」と称された。

設問3 波線部Ⅱについて述べた文 **あ**とい の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

- あ イスマイールが建国に際してトルコ系遊牧民キジルバシュを戦力として使った。
 - い 君主はイランの伝統的玉号であるシャーの称号を採用した。
- ① あ 正 い 正 ② あ 正 い 誤
③ あ 誤 い 正 ④ あ 誤 い 誤

設問4 波線部Ⅱのアッバース1世に関して述べた文のうち正しい番号を選びなさい。

- ① ポルトガル勢力をホルムズ島から駆逐した。
- ② アンカラの戦いでティムールに敗れた。
- ③ パーニーパットの戦いでロディー朝に勝利した。
- ④ ニコポリスの戦いでジギスメントに勝利した。

設問5 波線部Ⅲについて述べた文 **あ**とい の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

あ ムガル帝国ではペルシア語も公用語として使用されていた。

い バクティ信仰とイスラーム教を融合したシク教がカビールにより創始された。

- ① **あ** 正 **い** 正 ② **あ** 正 **い** 誤
③ **あ** 誤 **い** 正 ④ **あ** 誤 **い** 誤

設問6 波線部Ⅲのアクバルに関して述べた文のうち**誤**っている番号を選びなさい。

- ① ヒンドゥー教徒であるラージプートと同盟を結んだ。
② 官僚に軍事奉仕を義務付けたマンサブダール制を定めた。
③ 非イスラーム教徒へのジズヤを廃止した。
④ インド=イスラーム建築であるタージ=マハルをアグラに建てた。

設問7 波線部Ⅳについて述べた文 **あ**とい の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

あ 江南から興り中国を統一した王朝であった。

い 内閣大学士が創設された。

- ① **あ** 正 **い** 正 ② **あ** 正 **い** 誤
③ **あ** 誤 **い** 正 ④ **あ** 誤 **い** 誤

設問8 波線部Ⅳの永楽帝に関して述べた文のうち**誤**っている番号を一つ選びなさい。

- ① 靖難の役に勝利した燕王は、南京を占領し帝位に就いた。
② 鄭和に南海諸国遠征をさせた。
③ モンゴル高原に遠征を行った。
⑤ 宋学の注釈書として『永楽大典』を編纂させた。

設問9 波線部Ⅴについて述べた文 **あ**とい の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

あ 清の軍隊組織には満州八旗・モンゴル八旗・漢軍八旗以外に、漢人主体の綠營があった。

い 文字の獄や禁書を通じて反清・反満の思想を弾圧した。

- ① **あ** 正 **い** 正 ② **あ** 正 **い** 誤
③ **あ** 誤 **い** 正 ④ **あ** 誤 **い** 誤

設問10 波線部Ⅴの皇帝に関して述べた文のうち正しい番号を選びなさい。

- ① 順治帝は遷界令により鄭氏一族の反乱を抑えようとした。
② 康熙帝は軍機処を設置し、キリスト教を禁止した。
③ 雍正帝はジュンガルを滅ぼし、東トルキスタン全域を支配した。
④ 乾隆帝はロシアとネルチンスク条約を結んだ。

問2 文中の下線部A～Eに関する設問1～5に答えなさい。

設問1 下線部Aに関連して、7世紀末以降ウラマーの中から任命され、イスラーム法にもとづいた審理を行なった裁判官を何というか答えなさい。

設問2 下線部Bについて、オスマン帝国ではイエニチェリや高級官僚となる人材を、バルカン半島のキリスト教徒の男子から強制的に徴用した。この徴集制度を何というか答えなさい。

設問3 下線部Cについて、15世紀に明の支配を脱した後、明と朝貢を開始して良好な関係を結び、科挙制度や朱子学が振興した東南アジアの王朝は何か答えなさい。

設問4 下線部Dに関連して、15世チベット仏教を改革し、戒律と修業を重視する黄帽派を創始したのは誰かを答えなさい。

設問5 下線部Eに関して述べた文のうち正しい番号を選びなさい。

- ① 藩部においては、直轄地と異なり間接統治が行われた。
- ② 藩部はモンゴル、雲南、チベット、新疆の総称である。
- ③ 藩部では兩班が官僚として統治した。
- ④ 藩部を統括する役所として北京に公行を設置した。

問1

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5
①	②	①	①	②
設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
④	①	④	①	①

問2

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5
カーディー	デヴシルメ	黎朝	ツォンカパ	①

問1 1点×10 10点

問2 2点×5 10点

チャルディラーンの戦いで、イエニチェリの活躍でサファヴィー朝を破った。

スレイマン 1 世 サファヴィー朝よりバグダードを奪う
モハーチの戦いでラヨシュ 2 世を破った
ハンガリーの大部分を支配した
ウィーンを包囲する
プレヴェザの海戦で スペイン、ヴェネツィア、ローマ教皇などの連合艦隊を破った

セリム 2 世

フランスにカピチュレーションを公認した。

レパントの海戦でスペイン、ヴェネツィア、ローマ教皇などの連合艦隊に敗れた

地中海の制海権を失った×

アメフト 3 世 18 世紀前半 「チューリップ時代」

ティマール制により徴収したスルタンの常備軍が征服活動の中心となった×

問1 サファヴィー朝

シーア派の十二イマーム派を国教とした
トルコ系遊牧民キジルバシュを戦力として採用し建国した。
君主はイランの伝統的の王号であるシャーの称号を採用した
神秘主義教団の教祖イスマイールにより建国された
イスマイール 1 世はチャルディラーンでセリム 1 世に敗れた
タブリーズを都とした

当初はトルコ系遊牧民の軍事力に依存する国家であったが、イラン系定住民の信仰の接点を見出すべく

シーア派の十二イマーム派を国教とした

アッバース 1 世

ポルトガルをホルムズ島から駆逐した。

遷都された都は「イスファハーンは世界の半分」と言われ繁栄した。

ヨーロッパとの貿易で、イラン産の絹が輸出された。

オスマン帝国からバグダードを回復した

オランダとの同盟、イギリスとの貿易協定などヨーロッパ諸国と関係を深めた。

常備軍の整備、親衛隊の育成により皇帝権力を強め、中央集権体制を確立した。

ムガル帝国

イスラーム教とヒンドゥー教徒の融合を図る信仰が盛んになる
ペルシア語が 公用語として使用されていた。

ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融合

バクティ信仰とイスラーム教を融合したシク教がナーナクにより創始された。

バクティ信仰とスーフイズムの影響のもとカビールは宗教改革を行った。

カビールの影響を受け、ナーナクはシク教を創始した。

シヴァージーがマラータ王国を建国した。

バーブル

パーニーパットの戦いでロディ朝を破り、建国した。

都はデリー

アクバル

ヒンドゥー教徒であるラージプートと同盟を結んだ。

皇帝と官僚の主従関係として、マンサブダール制を制定した。

非イスラーム教徒へのジズヤを最終的に廃止した。

都 アグラ

アウラングゼーブ

ジズヤの徴収を復活させた。

パンジャーブ地方、シク教徒の教主を処刑し、教徒の反発をまねいた。

デカン西部 シヴァージーにより建国されたマラータ王国

明

中書省を廃止し、丞相を廃止して六部を皇帝に直属させた 皇帝親政体制が成立した。

明では

皇帝親政による政務の増大は、内閣大学士の創設と宦官の専横化を生み出した。

江南から興り中国を統一した唯一の王朝である。

洪武帝

海禁政策をとり朝貢貿易を推進した

永楽帝

靖難の役に勝利した燕王は永楽帝となった。

鄭和の南海諸国遠征は